## 令和4年度財務書類(バランスシート)を公表します

財政状況に対する理解を深めていただくため、民間の会計基準を活用し財務書類を作成しています。

令和4年度決算に基づき、国より示された統一基準 を用いて財務書類4表を作成しました。

ここでは、財務書類4表のうち「貸借対照表(バランスシート)」のみ掲載しています。それ以外の財務 書類は、市ホームページでご覧ください。

## 貸借対照表(バランスシート)とは

地方公共団体の決算は、その年度における 収入・支出の状況を表しているのに対し、貸 借対照表は今までに市が建設してきた学校や 福祉施設、道路、公園などの資産(市民の財産) の状況と、そのために将来負担しなければな らない借入金などの負債を把握することがで きます。

## 一般会計等バランスシート

(令和5年3月31日現在)

借方(資金の使われ方)				
1	固定資産	1,165億3,307万円		
	①有形固定資產 A	1,089億1,804万円		
	事業用資産	723億5,598万円		
	(庁舎、学校、保育所、児	童館、福祉施設など)		
	インフラ資産	364億4,748万円		
	(道路、公園など)			
	物品	1億1,458万円		
	②投資その他の資産	76億1,503万円		
	(出資金、基金、長期延滞	持債権など)		
2	流動資産	75億8,293万円		
	①現金預金	29億5,005万円		
	②基金(財政調整、減債)	40億5,744万円		
	③未収金、短期貸付金など	5億7,544万円		
	資産合計 ®	1,241億1,600万円		

		(11	[和5年3月31日現任]	
	貸方(資金調達のされ方)			
1	固定負債		264億3,514万円	
	①地方債		238億4,002万円	
	②退職手当引当金		25億9,512万円	
2	流動負債		34億9,770万円	
	①1年内償還予定地方債		30億5,177万円	
	②賞与等引当金		1億8,171万円	
	③預り金		2億6,422万円	
	負債合計	©	299億3,284万円	
1	純資産		941億8,316万円	
	純資産合計	<b>D</b>	941億8,316万円	
	<b>台</b> 唐、幼迩帝 <b>今</b> 卦		1 2/1/億1 600万田	

資産合計 B 1,241億1,600万円 ● 負債・純資産合計 1,241億1,600万円

- ●資産合計 1,241億1,600万円 【市民1人当たり 206万円 (207万円)】
- ●負債合計 299億3,284万円【市民1人当たり 50万円(54万円)】
- ●純資産合計 941億8,316万円【市民1人当たり 157万円(154万円)】 ( )内は前年度数値 ※令和5年1月1日時点の住民基本台帳人口60.140人で計算しています。

※上記のバランスシートは、一般会計と石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計、仁良川地区土地区画整理事業特別会計、歳入歳出外現金を合算したものです。

## バランスシートから分かること

これまで市は、1,241億1,600万円 $\mathbb{B}$ の資産を形成してきました。そのうち、有形固定資産(学校・道路・公園など)の1,089億1,804万円 $\mathbb{A}$ が将来に引継ぐ資産になります。

資産のうち941億8,316万円®は、これまでの世代の負担ですでに支払いが済んでいます。残りの299億3,284万円®を、将来の世代が負担していくことになります。

純資産®が負債®より多いほど、健全な財政運営ができているといえます。



